

愛と敵



東郷 潤

敵を愛すことは簡単です。誰にでも、出来るんですよ。

え？ 嘘だろうって？

なら、ちょっと想像してみませんか。

さあ、敵のために、プレゼントを用意したと想像してください。
お菓子を買って、箱に入れてリボンをかけて。



そして、あなたの敵のところに持っていきます。

ほくは君のことを愛しているんだ。
だからプレゼントをあげるよ。



ね、敵を愛すのって、簡単だったでしょう？ 必要だったのは、ほんのわずかなお金だけ。でもね、敵だと思っている人から愛を受け取ることは、とっても難しいのです。

え？ 愛されることこそ、簡単だろうって？ **とんでもありません！！**

…ちょっと想像してみまじょうか。

今度は、あなたが敵だと思っている人から、プレゼントを貰ったと
しますね。

俺はお前を愛している。これが
その証拠のプレゼントだ。やるよ

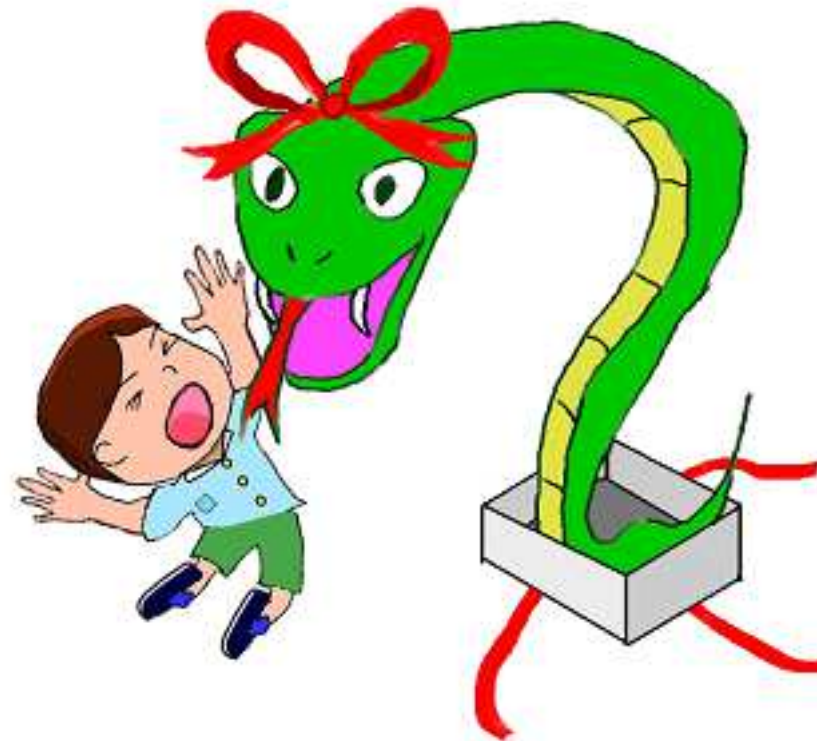


さあ、敵からのプレゼントです。箱の中には、何が入っているでしょう？ 爆弾でしょうか？ ……もしそうなら、箱を空けたら爆発するかも。



それとも、毒蛇？

箱を空けたら、噛付かれるかも。



それとも、ばい菌？ 箱を空けたら、伝染病になるのかも。



どうしたんだい？ さあ、これは
美味しいチョコレートだよ。もらっておくれ

いらないよ



むろん、敵が好きなものをくれるはずがありません！ もし、本当に
チョコレートなら、毒入りに決まっています！！

俺様からのプレゼントだぞ！
受け取れ！

いやだ！
ほくはまだ死にたくない！



いやだあ————！！
僕はまだ死にたくないんだ。
助けてくれー！！

これは本物のチョコレートだぞ！
受け取れ！
こら、受け取れ！！



ね、もう分かったでしょう？ 愛することはとっても簡単。

敵ですら簡単に愛せるんです。

でも・・・、愛を受け取ることは、命がけ！

だから、分かって！



本物のダイヤの指輪だぞ
俺の愛を分かってくれ！



分かってくれ！

お前たちのための
民主主義だぞ。
なんでそれが
分からないんだ！？



あとがき —絵本「愛と敵」

必要な理解を伴わず、ただ愛することの大切さばかりを強調することは、一とても悲しいことですが、本来は自然な感情であった愛を著しく歪めてしまう危険があります。そして歪んだ「愛」は直接・間接に、いじめ、家庭内暴力、ストーカー・サディズムなどの性犯罪、さらには人種差別、戦争など様々な悲劇を引き起こす可能性があると考えられます。

本絵本は、そうした悲劇を地球上から無くすことを目的に執筆したものです。もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org